



ワンコイン
ブック

往生

おう

じょう

四
衢
亮



東本願寺出版

往おう

生じょう

四よつ

衢つじ

亮あきら

「往生」という言葉

「往生」おうじょうという言葉を辞書で引いてみますと、「浄土」じょうどに往生する」という意味をはじめ、「この世を去ること」「死ぬこと」という意味や、「すっかりあきらめ、行動をやめること」「どうにもしようがなくなつて、困ること」という意味もあります。そこから「もうほんとうに困つて往生した」というような言葉も出てきます。

往生の「往」は「ゆく・いく」とふりがなをつけますから、動きや歩みを表す言葉なのですが、「立ち往生」という言葉もあるように、「にっちもさっちもいかなくなつて動きが取れない」という逆の意味にも使われるというのはおもしろいところ です。

また、長寿をまっとうされ、苦しみも少なく安らかな形で死を迎えられた方のことを「大往生だった」と言ったりもします。そして亡くなることを「お迎え」があったと表現される場合もあります。

これは、浄土に往生を願う人に、臨終りんじゅうに際して仏や菩ぼ